



三 愛 学 園

児童養護施設さんあい

一時保護施設

三愛子ひつじ寮

社会福祉法人 三愛学園

〒369-0212 埼玉県深谷市榎挽 15-2

Tel 048-585-0605 Fax048-585-0562

Mail san-ai@iscis.on.ne.jp

URL san-ai-jidouyugo.org



皆様、新年あけましておめでとうございます。

理事長 高瀬一使徒



旧年中は様々なことがありましたが、1月より新規一転の気概で歩もうと決意しております。

世の中は、福祉を含む様々な職場で多様性の尊重や様々なハラスメントに対する取り組みが求められるようになっています。今まで容認されていた事が禁止されたり不適切と認定されたりということが年を追うごとに多くなっています。特に福祉施設に於ける利用者に対する不適切な事案はメディアに取り上げられることもあります。それらは容認されるものではありませんし、施設全体の課題として取り組まなければなりません。同時に行政はそれらを社会の課題として取り組む必要があります。例えば待遇の問題です。民間福祉職員の報酬や休みは公務員より少ないのが実情です。公的機関からの収入が不十分だからです。それらが要因で種別を問わず福祉現場で働く人の離職率は高く、職員確保が年々困難になっています。

理事長として三愛学園全体の課題にしっかりと取り組むと同時に行政が取り組むべき課題についても時をとらえて訴えてゆきたいと思います。

新しい年が皆様にとってより祝された一年になりますよう、神様にお祈りいたします。

新しい年に思う

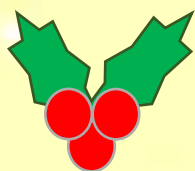
施設長 平本実

黒柳徹子さんが書かれたベストセラー『窓ぎわのトットちゃん』の続編が41年ぶりに出されたということでさっそく入手しました。戦時中に東京から青森に疎開をし、そして再び東京に戻ってきて俳優になるまでの自身の体験がつづられています。読後、あらためて41年前に買った『窓ぎわのトットちゃん』も読み直してみました。物語の内容は、東京都目黒区自由が丘にかつて存在し、著者の黒柳さんが通学したトモ工学園を舞台に、ご自身の小学生時代、学園で受けたユニークな教育方法が描かれています。戦前～戦中にかけて戦火が厳しくなり、軍国教育が強化される中でも、子ども達一人一人の特性、個性を尊重する教育環境の下、一般の学校になじめなかった黒柳さんが、その才能を開花させる土台が作られたことが、続編を読んであらためてわかりました。



同書は、ポーランド政府が1979年に設けたヤヌシュ・コルチャック賞を受賞しています。同賞は、ナチス政権下、著作と孤児院の運営など実践の両面から児童教育に力を注ぎ、子どもの権利という概念の先駆者となった小児科医で児童文学作家ヤヌシュ・コルチャック氏を記念して作られた賞です。

ヨーロッパや中東での戦禍のニュースを聞き続けた1年。その中で大人の争いとは関係ない子ども達が苦しんでいる姿に心が痛みます。国内でも子どもの虐待通報件数は昨年さらに増え続けています。増設したさんあいの一時保護所も常に満員です。混沌とした時代にあって、子ども達に安全、安心を提供し続けると共に、それぞれが持つ個性を伸ばし、退所後の生きる力を養うさんあいであるために、新しい年も研鑽を積んでいきたいと思っています。



2023 年 さんあいクリスマス

ツリー点灯式

12月3日（日）さんあいではこの日、中庭のクリスマスツリーに明かりをつける点灯式を行いました。点灯の前には交流ホールで、世界各地で続く紛争とその影響で家や土地を追われ難民となった人々のことを覚える話を聞きクリスマスの意味をあらためて考えました。



点灯の瞬間を心待ちにする子ども達が中庭に集合。日の入りと共にカウントダウン。「3, 2, 1 点灯〜!」。歓声と共にツリーに灯がともりました。



九条サンタがやってきた！



V Tuber の九条写楽さんより、今年もたくさんのクリスマスプレゼントをいただきました。ご自身とフォロワーの方々からの寄付物品を軽トラックに載せて来園。中には食料品やトイレトペーパー、生活必需品が満載。無洗米も 200 キロ近くありました。物価高騰が続く中でのご支援は本当に助かります。



また先日は深谷市で開催されたバスケットボール B リーグの試合にも子どもたちをご招待くださいました。いつもこの時期にさんあいの児童と職員のために奔走してくださる九条サンタさん。ありがとうございました。

サンタルギーニがやってきた！

12月25日、今年もランボルギーニに乗ったサンタさん、「サンタルギーニ」の皆さんが来てくださいました。子どもたちは数千万円するカッコイイ車に興奮を隠せません。何度も乗って写真を撮ってもらおう子、全部の車に乗ってみる子、やさしいサンタさんとお話する子もいました。代表の諸星さんから施設に寄付金をいただいたうえに、最後は子どもたち一人ひとりにプレゼントを配っていただきました。心より感謝申し上げます。子どもたちは帰るランボルギーニに名残惜しそうに手を振りながら「また来年も来てね!」とお願いしていました。あっという間の 1 時間でした。



クリスマス会 12月23日

【第一部】

礼拝では、クランツのロウソクに火を灯し、イエス様の降誕の映像を見てから皆で献金を捧げしました。さんあい子ども達や職員、ご参加いただいた理事の方からの献金は合計で¥72,354 となりました。今回はウクライナとガザの支援のために大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



【第二部】

祝会では、心を込めて手作りされた料理や、寄付していただいたたくさんのケーキやチキンをほおぼりながら、子ども達や職員による歌やダンス、マジックショーなどを楽しみました。今年はたくさんの子ども達や職員が出し物に参加したので、盛大な会となりました。



職員手作りの飾りつけ！お見事！



大人っぽく歌い上げた女子3人組♪



息ぴったり！沢山練習したね！



新任職員による
なにになに Box クイズ



低学年男子によるマジックショー



さんあい聖歌隊



子ども達のダンスを全力で
盛り上げてくれた男性職員



総勢12名のパワフルダンス



男性職員によるマジックショー

令和6年 新年の誓い

感謝する気持ちを大切に
できるようになります！

「ありがとう」など感謝の気持ちを伝えることで自分も相手も優しい気持ちになります。素直に「ありがとう」「ごめんなさい」と言えない子も多いですが、まずは職員が感謝を伝えていきながら、子ども達にも感謝することされるのが嬉しい気持ちになることを実感してもらい、その気持ちを大切にしていければと思います。

ぽぷら

思いやりの気持ちがいっぱいな
一年にします！

去年は、相手の気持ちを考えようとする子どもたちの姿をたくさん見ることができた1年でした！「ありがとう！」「ごめんね」「すごいね！」等の優しい言葉が子どもたちから出ることも以前より増えました。これからも思いやりの気持ちを忘れずに、優しい気持ちで溢れるねむのきにします！

ねむのき

新しい出発（未来へのステップ）
をとことん応援します！

去年のさんあい1日研修の場で、三愛子ひつじ寮独自のモットーを検討。「一人ひとりの思いを尊重し、未来へのステップを応援します」と決定しました。今年は様々な面で新たな出発の一年となります。自立をスタートする子どもたちも複数います。変化には大変なこともあります、それぞれが自分らしい出発（未来へのステップ）を迎えられるように見守っていきます。

三愛子ひつじ寮

宣言します！

女の子フロック

健康第一！
毎日元気に過ごします！

「2023 年は大きな病気にかかることなく、皆で元気に過ごす事ができました！2024 年も美味しいご飯を毎日たくさん食べて、元気いっぱい外遊びを楽しみ、風邪予防もしっかりとしながら皆で楽しい毎日を過ごしていきたいです♪健康第一に子どもも職員も元気いっぱい共に生活していきます!!

いちょう

挨拶が飛び交う居室にします。

挨拶をすることを知らなかったり、なかなかできない子ども達、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「いただきます」「ごちそうさま」「ただいま」「いってらっしゃい」等、たくさんの挨拶があることをまずは、職員が手本になり、伝えていきたいと思います。また、定着をしてきたら、「ありがとう」「ごめんなさい」もできたらいいなとも思っています。

女の子オリーブ

宣言します！

男の子ブロック

相手を思いやる言葉を使います！

素直で思いやりのある子どもたちがそろったひのきですが、素直が故に悪意のないチクチク言葉を投げかけてしまう事もしばしば…。思いやりのある子ども達なので、来年は相手の気持ちを考えた言葉選びができるようになり、今以上に優しくかっこ良い男の子になってもらいたいです◎

ひのき

相手の気持ちを考えて、優しい声かけをするお部屋になります！

かしのきでは時々、伝え方や態度で相手に誤解を生んでしまったり、相手が思っていないのに勝手に怒ってしまったりすることもあり、日々、相手への伝え方を勉強中です。もともと優しい子たちなので、上手に伝えられるように、困っている子がいたら優しく話しかけられるように頑張っていきたいです。

かしのき

思（想）いやりの気持ちを持ちます！

子どもたちは優しい心をたくさん持っています。それでも去年はたくさんトラブルが起きてしまいました。お手伝いが大好きな子どもたちにたくさん助けてもらっています！来年は子どもたちの優しい心がたくさん溢れる空間になって欲しいです！

もみのき

お互いを思いやれるようになります。

普段の生活の中で譲り合い、認め合う部分は多いですが、ゲーム時やじゃれ合いの遊びの場面で同室児童同士のトラブルは起こります。お互いの特性や性格を理解できるような子ども同士のコミュニケーションの場を作れるように、職員が意識して支援をしていきたいと思っています。

男の子オリーブ

チームさんあいの新しい仲間を紹介します！

小町 恵です！



①出身地 埼玉県本庄市

②趣味は？ 今まで育児や仕事が忙しくほぼ無趣味でしたが、これからゴルフや山登りをやってみたいです。

③特技は？ バレーボール・テニス

④どんな職員になりたい？ 子ども達に必要とされる職員になりたいです。自分との関わりがどんなに少しでも、子ども達にとってプラスとなってくれれば嬉しいです。

⑤自己PR 社会人としての経験は長いですがここでは新人です。

どんな仕事も積極的に常に向上心を持って取り組みたいと思っています。子ども達により良い支援ができるよう、独りよがりにならず、皆さんの意見を聞き、勉強し、工夫しながら仕事をしていきたいです。よろしくお願いします。

キーワードは「あんしん、じしん、じゅう」 ～CAP 研修開催～

前文と 54 条からなる子どもの権利条約には、生きる権利や成長する権利、暴力から守られる権利、教育を受ける権利、遊ぶ権利、参加する権利など、世界の子どもたちがもっている様々な権利が定められています。この権利を守る責任は一義的には国＝政府にあります。社会を構成する大人たちにもそれを推進することが求められています。しかし増加する児童虐待に関する通報件数をみてもわかるとおり、社会がその責任を果たしているとは言い難い状況です。権利は他者によって守られる一方、当事者がその権利を認識、主張をすることによっても推進される側面があります。当事者である子ども達が自らの権利についての知識や技術、そして態度を増やしたり強めたりする（エンパワメントされる）ことを目指して、NPO 法人 CAP くれよんの協力の下、CAP 研修を 3 年ぶりにさんあいでも開催しました。



CAP は(Child Assault Prevention=子どもへの暴力防止)の頭文字をとったもので、こどもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力 といったさまざまな暴力から自分を守るための人権教育プログラム。1970 年代後半にアメリカで始められ、1980 年代に日本にも紹介されました。

最初に職員を対象にした研修を実施。この研修を受けることで、子どもたちが自ら権利を持っており、それを主張、発信することを支援するのが大人である職員の役割であることを学びました。



そして、次は子ども達の番。学年の近い少人数のグループに分かれて実施しました。キーワードは「あんしん、じしん、じゅう」。これを脅かされることは権利が侵害されること、と学びます。頭で理解することと合わせて、実際にありそうな生活や学校の場面をロールプレイでも再現。権利が侵害されそうになったら、しっかりと「NO!」と言う。一人でできなければ、仲間と助け合うこと、そして安心できる大人に助けを求めることを心とからだで覚えしました。

さんあい一日研修

秋も深まる 11 月、いつもの職場を離れて寄居町の研修施設で職員の 1 日研修を行いました。本園は今年も 2 班に分かれ、自立援助ホーム子ひつじ寮の職員も参加しました。

昨年同様、理念の確認のあと、今年が折り返し点になる法人 7 か年計画の進捗状況の確認と評価を行いました。本園の 1 ユニット職員 4 名体制の実現、自立援助ホームの開設や一時保護所の増設など着実に達成できている項目がある一方、働き方改革やキャリアパスの多様化、財政基盤の強化など中期計画後半で取り組みを加速させなければならない課題も確認できました。

その後はベテラン職員によるさんあい設立当初の話に耳を傾け、設立当初の思いを現在の職員も共有。午後は、本園は働き方改革や権利擁護、新年度に開始予定の新しい事業について、子ひつじ寮は開設から 4 年のふりかえりと新年度からの新しい体制について活発に意見交換を行いました。



地域小規模施設開設の準備

さんあいでは施設の地域分散化という国の指針に沿って来年度より地域小規模グループホームを設置することを予定しています。空き家となったご近所さん宅をお借りすることができたため、そこを現在6人の子どもたちと職員が生活できるような間取りにリフォームしています。

場所はさんあいの隣なので、本園との連携や組織としての一体感を崩すことなく、より家庭的な養育を目指して行きます。



本園とは道を隔ててお隣です。

アニマルクラブ

10月22日(日) パティオ散歩

片道1.3kmの道のりを、景色や会話を楽しみながらのんびりと歩き30分かけて近くの公園に行きました。広い公園内を犬達と思いきり走ったり、犬と一緒に滑り台を滑ったりと普段ではできない触れ合いができました。



11月14日(火) 動物愛護フェスティバル参加

会場となった埼玉県動物指導センターでは、普段は触れる事の難しい小動物と触合いながら、身体の作りを学んだり、マイクロチップを読んだり、聴診器を使って獣医体験等をして将来への夢が膨らみました。



12月2日(土)、9日(土)、26日(火) お泊り会

メンバー11名を3班に分けてお泊り会をしました。

犬の取り扱いにならない様に少人数で行いました。夜のお散歩では、イルミネーションのある公園に行きました。

夜はゆっくりと犬達と過ごしました。



埼玉県福祉施設等指導監査

11月2日に社会福祉施設等指導監査(実地監査)が実施されました。実地監査は2年に1回行われます。埼玉県福祉監査課・こども安全課から運営管理・処遇・財務管理の監査を受けました。朝9時過ぎからほぼ一日かけて行われた監査では、昨年度の様々な記録を細かに見ていただき、職員からの聞き取りも行われました。正式な結果はまだ届いておりませんが、当日の監査終了後の講評では大きな指摘事項はありませんでした。講評でご指導いただいた事項を一つ一つ真摯に受け止め、よりよい施設運営に取り組んでいきたいと思ひます。

女の子オリーブ

12月の中庭のイルミネーションの点灯式があり、子どもたちは暗くなると嬉しそうにお部屋の窓から眺めています。また、寒さに負けず外で一輪車の練習をしたり、縄跳びを跳んだり元気です。その他にも、教会のクリスマス会に参加し、楽しくゲームをしつつ、キリスト教にも触れる機会もありました。先日は、株式会社イオンファンタジーさんによる「うらちゃん」との交流もありました。居室内でインフルエンザが出てしまい参加できるか危ぶまれましたが回復して無事に全員参加。うらちゃんとクイズをしたり踊ったりして過ごし、プレゼントのうらちゃんのぬいぐるみも子ども達の宝物になりました。

(柳井)

職員メンタルヘルス

11月9日に職員7名で小田原に日帰り旅行に行ってきました。午前中にかまぼこ・ちくわ手作り体験教室に参加し、その場で焼き上げ、焼きたてを食べましたが、普段食べているちくわとは全く別物で感動のプリプリ食感！昼食は漁港の駅にてお刺身食べ放題を頂きました。分厚いお刺身が食べ放題なので、海鮮好きにとっては夢のようなひと時でした。移動の車内では、子どものおやつ事情や日用品購入の情報等子育て中の主婦のような話題や、何故さんあい就職しようと思ったのか等様々な話をする事ができ、個々のリフレッシュと職員同士のコミュニケーションが深まった1日となりました。

(高柳)

いちょうの広場



子ひつじ寮

「今日も寒いね」「うん、本当寒いね」と、起床した子や外出から帰ってきた子と顔を合わせると互いに今日の寒さを確認しあい共有するのが最近のルーティーンとなっている子ひつじ寮です。特に朝の寒さは別格で、職員の私も何とか精一杯の勇氣とエネルギーを振り絞り、ベッドから這い出す毎日です。一方で、子ひつじ寮の子ども達は仕事や学校、遊びと朝からでもしっかり活動している子が多く、「そのエネルギーはどこから来るのだろう？」と驚かされる毎日であります。中にはこの寒さも影響しているのか、この頃気持ちも落ち気味で学校を休みがちになっている子もいますが、何とか暗く寒いトンネルを抜け出せるよう、職員として何ができるのかと自問自答しながら日々子どもと関わっています。年末年始にかけて、職員もバタバタと多忙な日々ですが、子ども達もそれぞれのペースで施設の外に向かって活動的に生活をしています。そんな状況をふと振り返ると、コロナ禍真っ只中で厳しい行動制限があった時期に比べれば、随分と自由に過ごせるようになったなと、一個人としては当たり前の日常を噛み締めたりもします。あのコロナの時期を耐え抜いた子ども達ですから、きっと今年の寒さにも負けず、元気に自分らしく冬を乗り切れることでしょう。寒さがとにかく苦手な私も弱音を吐かず、子どもの姿を見習って日々精進したいと思う今日この頃です。

(細井)

男の子オリーブ

12月末現在、男子オリーブは幼児2名、小学生3名です。先日、皆でラウンドワンに出かけ、それぞれ自由な遊び方ができる環境の中で楽しくスポーツや乗り物乗りをしてリフレッシュをしてきました。また公園に行った際は、日差しの中で自由に遊び回り、野外の休憩スペースでお弁当を食べました。教会の子どもクリスマスにも参加し、お話を聞いたあとは、つながりじゃんけんゲームや借りものの競争ゲームなどをして他のお友達とも交流を深めました。年末も行事が盛りだくさんで、子ども達も生き生きしています。

(釜谷)

さんあいレストラン

小学生の授業参観日の振替休日、「さんあいレストラン」がオープンしました。普段はユニットごとの調理、食事ですが、この日はホールでのビュッフェスタイル。事務所職員で色々なアイデアを出し合って考えたメニューは、定番のからあげやポテト、その他冷蔵庫にある在庫の食材も使い工夫して作られたものです。

自分のお腹と相談しながら好みの料理を取り分けていきます。大盛で盛り付ける子、遠慮がちに盛り付ける子と様々ですが、全員が笑顔で嬉しそうに食べていました。早くも次回はいつ？と期待して話す子もいました。

(坂田)

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。

ご寄付は同封させていただいた振込用紙、または下記の口座にお願いします。*お名前をお入れください*

埼玉りそな銀行 岡部支店(普) 0058888 70) 212147121 212147121 外

編集後記 冬に赤い実を付ける“南天”に鳥達が集まって実をついばんでいる姿を最近見かけます。南天は「難転」～難を転じて福となす～に通じることから、縁起木として愛されてきました。最近、門松や正月飾りなどあまり見かけませんが、新しく来る一年が平和で健康に過ごせますようにと縁起の良い南天を使った正月飾りを飾りたいと思います。

(広報タスクチーム一同)